

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

本学では、「豊かな人間性と個性を有した実践力のある専門的職業人・国際人の育成」を実現すべく、「教育とスポーツの融合」「時代の求める教育の追求」「教育する者も教育される者も共に成長しながら教え育む（共育）」の実践を行っている。

教職課程の授業の質の向上としては、授業担当教員の配置に工夫をしている。高度な専門性を持つ者、官公庁や企業等で実務経験を重ね研究活動を進めてきた者、教育現場で実務経験を積み重ねてきた者（実務家教員）で、適正な教職課程を編成している。その中においても、実践的な教育力・指導力の育成が必要な科目には実務家教員を充てている。

授業では体験活動を重視している。全学的に取り入れている「学校支援ボランティア」では、教育現場に触れる活動を提供している点も特色である。また、教員としての資質の向上を意識する科目として「教育実践学Ⅰ～Ⅲ（青年教師塾）」がある。この科目では、年間を通して複数回教育現場を体験し、理論科目や実践科目（教育法）、実習科目との有機的関連を把握できるようにしている。

教職課程履修学生のポートフォリオとして、「履修カルテ」を作成し、履修科目や各種授業での学修状況、インターンシップ（教育実習）などの参加状況などの記載を求めている。これにより、教職への適性や資質を含めた学生個人個人の学修状況を把握し、きめ細やかな指導を行っている。四年にわたり積み重ねながら作成された「履修カルテ」を踏まえ、教職の総まとめと位置づける「保育・教職実践演習（幼稚園）」「教職実践演習（小学校・中学校・高等学校）」において、履修者に教職課程の振り返りを行うと同時に、教職の適性を判断し、免許発行の見極めを行っている。

また本学では、教職課程の運営を通じて近隣自治体との連携・協力を進め、教員養成の質の向上に役立っている。近隣の市町村自治体とは、インターンシップやボランティアの派遣・受け入れの関係のみならず、自治体の教員研修への講師派遣についても協力を進めている。同時に「教員免許状更新講習」を2009年度より毎年度実施している。

また、教育課程外におけるキャリア教育の推進体制として、「教職支援室（小中高分室、幼保施設等分室）」を設置している。

教職支援室では教職を志望する学生に対し、教員としての使命感や責任感を自覚させるとともに、今日の教員に求められる専門的な知識の習得や指導力の向上を図ることができるよう、教学と実践の両面から丁寧な指導と支援を行っている。

授業としては、3年生の前期・後期を通して「キャリアデザイン」の授業を、4年生の前期には「キャリアサポート」の授業を行っている。3年生の「キャリアデザイン」では、前期から教職志望者に特化した内容で授業を行い、教育現場の実態や教育課題を踏まえ、教師として必要な資質や能力、指導法等について学習を進めている。4年生の「キャリアサポート」では、面接や模擬授業、論作文などの指導を通して、教師としての考え方や自己表現力などを養い、採用試験のバックアップを行っている。

また、課外講座として、3年生、4年生を対象に教員採用試験対策講座を行っている。3年生の後期には、「教職教養」「模擬授業」「論作文」の対策講座を、4年生の前期には「面接」「模擬授業」「論作文」の対策講座をそれぞれ週1回ずつ行い、「キャリアデザイン」や「キャリアサポート」の授業と連動して学習を進めている。夏季休業中には、土日を除く毎日、各自治体の二次試験突破に向けての対策講座を行い、大学推薦候補者については、別途4年生の4月から週2回、個別指導を含む対策講座を行っている。

さらに、教員志願が強く一定の基礎学力を有している学生を対象とした勉強会「大志会」を設け、対策講座や自主勉強会などを行っている。2年生の後期には、大志会特別コースによる基礎学力の養成、3年生からは「一般教養」「教職教養」「教職専門」の対策講座や自主勉強会、対策合宿、教員採用試験模擬試験などを行い、採用試験突破に向けて実践力の育成と意欲の向上を図っている。

これらに加えて、教師としての実践的指導力を育成するため、岡山市、赤磐市と連携し、学校支援ボランティアの募集や配置を行い、希望者を対象に週1回、大学周辺の小・中学校等で学習支援や生活指導の補助などを行うことができるようにしている。